

平成 28 年度札幌円山幼稚園学校評価委員会の審議結果報告

委員長 美濃島茂樹（本園理事・卒業生・学識経験者）

委員 新津美智子（卒業生保護者、地域住民）

委員 長谷川真澄（保護者、地域住民）

1. 審議は、平成 28 年 5 月 6 日から 6 月 3 日にかけて、平成 28 年 4 月 25 日に札幌円山幼稚園から出された「平成 26 年度札幌円山幼稚園の学校評価 -本園の教育目標と平成 26 年度の重点目標-」（以下『学校評価』と記述する）を中心に慎重におこない、6 月 17 日に竹下満喜恵理事長・園長に審議結果の報告書を提出した。

この膨大なレポート『学校評価』は、次の「1」と「2」の二つのアンケートに基づいて作成されている。

「1」 教職員に向けて、平成 27 年 2 月 12 日に教職員に呈示し、2 月 16 日に集計した「平成 27 年度の札幌円山幼稚園における教育実践の自己評価」（以下「自己評価」と記述する）

「2」 それをふまえて、保護者に向けて、平成 27 年 2 月 17 日に配布し、2 月 23 日を提出期限とした【A-B-C-D】の 4 段階の選択肢からなるアンケート「札幌円山幼稚園の教育についてのアンケートのお願い」（『保護者アンケート』と記述する）に対する回答と、平成 27 年 3 月 16 日にそれを分析検討し本園の見解を提出した「本園の教育についてのアンケートへのお礼と見解」（以下『見解』と記述する）

2. 総合評価

上記「1」「2」はともにひじょうに詳細な観点にわたる極めて真摯な取り組みと言える。そして『学校評価』は、それら二つを比較しながら多岐にわたる項目を設定し分析検討したものであり、本園の幼児教育に対する並々ならぬ熱意と教育実践の取り組みの様子が拝見できるものである。

報告にあたって、始めに審議の結論を述べることにする。札幌円山幼稚園では、この『学校評価』をめぐる検討作業を、自らの教育実践を総点検し対象化する重要な営為として位置づけている。また、その作業過程では、教職員による『自己評価アンケート』と『保護者アンケート』とを一元化し相互に関連づけながら考察し、次年度の教育計画を立案するために有効に活用しようとしている点で、ひじょうに本質的で構造化された取り組みと言え、当園の真摯な教育への姿勢は高く評価できる。

換言すれば、札幌円山幼稚園の教育をよりよいものにしようとするその姿勢は、文部科学省が自己評価の在り方として提示している「目標（Plan）-実行（Do）-評価（Check）-改善（Action）」という PDCA サイクルに基づいてしっかり教育実践に関わっていることの証左にほかならない。また、本園では、保護者の意向に丹念に耳を傾け、教育活動や園運営にそれを活かそうとする姿勢が顕著にみられることがすばらしいと思う。

そのような観点から、はじめに、アンケート回答時に付された当幼稚園の運営と教育に関するたくさんの保護者からの肯定的な評価や温かい意見の中からいくつか引用したいと思う。

- ・年少 2 学期から転勤により転園しお世話になって参りました。まず、最初に驚いたことはお誕生会における先生方の舞台のプレゼントです。お忙しい日々の中、月 1 回の舞台を継続していくことはとても大変なことではないでしょうか。気がつけば、収穫祭・教育発表会…先生方の暖かく工夫されたお取組みがたくさん詰まった幼稚園であることに嬉しさとともに感謝の気持ちでいっぱいです。「札幌円山幼稚園の教育」を軸に先生方の暖かいご指導を頂けたことはとても幸せなことであったと感じております。そして娘はつまりきながらではありましたが、少しずつ成長できたのではないかと思います。
- ・この 1 年間で娘の成長をしっかりと感じる事が出来ました。はじめはとてもシャイで人見知りをする事があったのですが、最近では幼稚園での出来事を楽しそうに報告してくれたり、歌を歌ったり、踊ったり覚えたことを見せてくれます。園で過ごす時間がとても楽しい様子です。先生方の教育もとても熱心で安心して預けられます。いつも感謝しております。日々の活動や諸行事についても各年齢に合った取り組みを適確にいただいていると感じます。
- ・いつも子どもたちを見守ってくださりありがとうございます。円山幼稚園の良いところは、先生方が愛情にあふれているところだと思います。これは園長先生、副園長先生のお力のたまものだと思います。いつまでも、このままの円山幼稚園だと嬉しいです。発表会や収穫祭など、行事毎で先生方の暖かさを感じます。「アンコール！」のお声がけも嬉しかったです。
- ・年度末にアンケートを頂く事で、場面ごとの沢山の思い出がよみ返ります。季節ごとの楽しい行事やロケーションごとに、我が子のみならずクラスのお友達の笑顔が瞬間写真を切りぬいた様につきぬ想いが過ぎた時間が宝物です。温かで一生懸命ご尽力される先生達の愛情の詰まった環境あってこそと心より厚く御礼と深く感謝を申し上げます。社会への第一歩を円山幼稚園を選んで本当に良かったです。大きく成長させて頂き充実した 3 年間で本当にありがとうございました。門前の階段上の満開の桜はいくつになっても見におじゃましたいです！
- ・3 年間、大変お世話になりました。ついこの間入園したような気がします。心も身体も大きく成長したことに気づき、親としてとても感動しました。いつも温かく見守ってくださった先生方のおかげです。幼稚園で覚えた歌や劇のせりふなどを家で言っているのを聞くたびに嬉しい気持ちになりました。園長先生をはじめ先生方には本当にお世話になり感謝しています。

3. 教育目標とその評価

次に、札幌円山幼稚園の平成 27 年度の教育目標を鳥瞰することにする。

① 札幌円山幼稚園の教育目標

1. 【本園教育の大目標】
2. 【本園教育の第一の小目標】
3. 【本園教育の第二の小目標】

大目標として「幼児時代は生涯にわたる人間形成の芽生えの時期として重要なので、幼稚園教育ではそれが豊かに展開できるように、一人ひとりの個性を尊重しながら、発達段階をふまえて総合的に支援する」ことを掲げている。

そして、その下位目標の一つとして、遊びを「幼児はいろいろな遊びを仕事としながら成長する発達段階にあるので、本園では自由遊びはもとより設定保育や諸行事や習慣形成などほとんどの活動を遊びとして位置づける。」こと、つまり遊びを子どもの感受性や思考力や諸能力を、系統的、総合的に成長させるために教育的に再構成して教育実践にあたることを挙げている。

また、下位目標のもう一つとして、そのような教育で培われる内容として具体的に、くはしったり、とんだり、うたったり、おどったり、かいたり、つくったり、かんじとったり、かんがえたり、ことばできもちやおもいをつたえたりする力、つまり体力・運動能力、感受性、芸術表現力、思考力、豊かな感情表現、思いやり、コミュニケーション能力などを挙げている。

② 【札幌円山幼稚園の教育目標に関する委員会としての評価】

これらを見ると大目標とその下位目標との間に有機的な関連性があり理念の実現の道筋が整然としており、実践の計画においても評価においても明確な拠り所となるようになってきている。また、教育内容においても、楽しい環境設定や場面設定を工夫し、みんなで楽しみながら遊び、遊びながら人間形成の基礎となる感受性や思考力や諸能力を育ぶように意図されているので、このような教育では、小学校の教科毎の個別学習では学べない総合的な人間としての力量、つまり人間形成の土台となる諸力をしっかり形成することができる。

課題の、若手教員の質的向上のために教職員一同は徹底した研修と研究をおこなっているとはいえ、まだまだ努力が足りないと感じ止める謙虚さに頭が下がる思いである。

また、生活場面での遊びと教育的な操作を加えて望ましい発達を促す遊びにはかなり大きな差異があるので、後者の点について保護者が納得できる形で見える化を図る工夫が今後必要となるという点では同感である。

札幌円山幼稚園では、いじょうのように、教育方法論や教育社会心理学の理論をふまえて明確な構造をもつ目標を設定している点で傑出していると言える。

4. 今年度の重点目標とその評価

【重点目標 1】平成 27 年度の重点目標の第一として、遊びの 4 本柱（自由遊び、自然体験学習園の活動、体育遊び、総合表現活動）の中から総合表現活動・自然体験学習園での活動・体育遊びからなる、幼児の発達段階をしっかり踏まえた幼児教育の推進を目指してきた。ここには、幼児教育の本質的であるとともに現代的、独創的な視座が力強く謳われ、その実践では教職員の地道で継続的な努力によって、幼児の多面的な発達に著しい高まりがみられたと評価できる。

1. 総合表現活動による全体的な発達の支援

総合表現活動で、わらべ歌遊び・けんけん遊び・和太鼓・和洋の歌曲・早口言葉や落語の小話をはじめ、いろんな芸能や芸術に親しむ。そして、それらを総合的に組み合わせ、有機的な想像世界を作り出す。これらの活動に好奇心をもって喜んで関わり、豊かな感情を培うと同時に、歌唱力やリズム感やダンス表現力を育てる。

他方で、この活動を通して、幼児期の発達に欠かせない世界や人間との関わりで必要な総合的な適性や能力を獲得する。とりわけ意欲、好奇心、集中力、感受性、助け合いの心、あいさつなど人間関係のスキル、自己肯定感、人を信じる心などを総合的に育成する。歌や踊りを通して幼児が内側からあふれ出てくる感情やメッセージなどを表現することが重要である。

アンケート結果を見ると、保護者も教職員も、子どもたちは総合表現活動を通して、歌うことがうれしく、体を動かしながらよく歌うようになった、と分析しているが、まだ工夫して深い表現に満ちた歌が歌えるはずだと考えている点ではさらなる展開を期待したい。とは言え、教職員は、すでにかなり高水準の表現教育を実践しているにもかかわらず、まだまだ子どもらしい、人間味のある温かく力強く、深い内側からあふれ出る表現を引き出したいと考えていることに満腔の敬意を表したい。

保護者は、子どもの和太鼓への関心と関わりにひじょうに高い評価をくだしているとはいえ、表現の質という点からは半数がさらなる向上を期待している。

一方、教職員は子どもの和太鼓への関心と取り組みに保護者よりさらに高い評価を与え、表現の質的な面についても極めて高い水準のものを生み出していると自己評価している。園としては、芸術表現教育の点だけでなく人間教育の点からも総合表現活動の意義は極めて大きいと考え、今後も教職員が一丸となってさらなる努力を重ねていきたいという考え方に賛辞をおくりたい。

2. 自然体験学習園での自己実現の促進

自然体験学習園での活動目的

自然体験学習園「おひさまひろば」で、畑作、自然観察、野遊び、散歩、歌、踊り、食事などの活動を総合的にこなすことにより人間形成の土台づくりに寄与する。また、自然に親しみ、動植物への興味や関心を高める。さらに、実りの過程に関わり、収穫祭で収穫の喜びを味わい、自然への感謝の気持ちを育て、保護者や友だちとともに楽しい時間を創りあげる。

一方、教職員も、いずれの点でも高い評価をした。相対的には、年間を通しての実際の過程を生き生きと実感してもらうことへの努力が足りないという反省が強く、実物直感主義による魅力的な教育方略を今後も考えていく必要があるとしている。

3. 体育遊びによる体力と運動能力の育成

体育遊びを通して、チャレンジ精神と達成感と有能感を育成する。また、体操・跳び箱・鉄棒・マット運動・ボール投げ・縄跳びなど、運動の基礎能力を習得する。

『保護者アンケート』の項目は次の3点である。「1」子どもはよく集中していた、「2」子どもは張り切っていた、「3」子どもはよく努力していた。

保護者は、「1」が80%、「2」が87%、「3」が87%、といずれも高い評価が得られ、体力作りと運動能力の習得が幼児時代に重要であるとの認識が強いことがわかった。

教職員の『自己評価』では、「1」が58%、「2」が59%、「3」が50%、とあまりよい実践ができなかったと評価している。これは、専任講師の補助として関わり主体的な役割を担えなかったことに対する内省的な表明である。したがって、今後は専任講師と十分な協議をおこない相互のあり方を検討する作業が具体的に進められている。

また、園として、今後は、能力の優劣が意識されすぎることのないよう、不適用な子や発達に遅れをもつ子どもも、互いに励まし合う中でともに成長するような方法論を検討したい。

このように体育遊びに常に向上しようと謙虚で真摯な姿勢で関わる円山幼稚園教職員に満腔の敬意を表したい。

【重点目標2】平成27年度の重点目標の第二として、諸行事の中で、幼児の好奇心を喚起し、多面的な潜在能力を引き出し、感受性と思考力を育てる具体的、総合的活動の機会として諸行事を位置付けていてほしい。

1. お誕生会

お誕生会では、誕生児が園児たちに祝ってもらおうと同時に、親子ともどもで成長の喜びを実感し合う機会と位置づけている。歌を歌ったりお祝いの言葉をかけあったりするさまをごらんいただく機会であり、親や仲間の前で言語によってしっかり自分のことを表現できるコミュニケーション能力の育ちを実感する節目の機会でもある。

2. おひさまひろばの活動

保護者の協力や支援のもと、おひさまひろばでの種まきや種イモの植えつけから始まる一連の活動はお子さまにとって大きな喜びと成長をもたらすものと考えている。

3. 収穫祭

自然体験学習園での活動の総決算である収穫祭では、作物を採り、じゃがいもを食し、歌や踊りを楽しみ、子どもたちの全面的な成長の機会としている。

4. 運動会

運動会では、元気いっぱいの子、全力で走り応援する子の姿を見ることができ、お遊戯の水準を超えて、子どもなりに美しさやエネルギーのほとばしりをしっかり表現できるダンスを披露する。このような経験を土台にして、子どもたちは、小学校のダンス授業でも意欲的に表現してくれるものと思う。

5. 教育発表会

教育発表会では、子どもたちの感情を豊かに耕すための日常の教育活動の成果を披れきし、保護者の評価を得る。

6. 総合表現活動発表会では、子どもたちの感情を豊かに耕すための日常の教育活動の成果を披れきし、保護者の評価を得る。けんけん大会では、子どもたちの感情を豊かに耕すための日常の教育活動の成果を披れきし、保護者の評価を得る。

7. 親子遠足では、親子が、終日、戸外で楽しい時間をともにし親睦を深める。

8. 個人懇談日

個人懇談における担任教師との話し合いを、子どもの成長にとって有益な機会とする。

9. 参観日

参観日では子どもが成長する様子を多面的に見てもらい、評価を得る。

10. 感染症と伝染病マニュアルについて

保護者の皆さまからのご要望にお応えし、皆さまと教職員とが手を携えて、お子さまが健康に集団生活が送れるように、感染症と伝染病のマニュアルを作りお渡ししてある。

11. 緊急事態における保護者と園との連携マニュアルについて

保護者の皆さまからのご要望にお応えし、お子さまの生命を守り安全に気をつけて生活できるように、緊急事態における連携マニュアルを作りお渡ししてある。

12. 札幌円山幼稚園のウェブサイト（ホームページ）について

ご家庭と園とが密接に連携を図りながら教育をおこなうために、日常の教育活動や行事の様子をウェブサイトで発信してきました。当園では、お子さまの諸活動を生き生きと多面的に紹介できるように直接教職員全員が関わって皆さまにお送りしています。具体的には、「ニュース欄」で写真とともに活動内容を紹介し、「フォトギャラリー」でもさらなる活動の様子を写真でご覧いただけるようにしている。

13. 札幌円山幼稚園の（システムサービスによる）メール連絡網について

本園では（システムサービスによる）メール連絡網（経費は園で負担）をとりいれ、ご家庭と園との連絡を密にするように努めました。

5. 平成 27 年度重点目標の具体的展開(諸活動と諸行事)に関する保護者と教職員の量的評価結果
【肯定的評価＝A（大変良い）とB（良い）を合算した％】

項 目	保護者	教職員
1) お誕生会	86%	100%
2) 自然体験学習園「おひさまひろば」の活動 収穫の喜び 作物の実り	88% 79%	100% 58%
3) 体育遊び 集中している 張り切っている 努力している	80% 87% 87%	58% 59% 50%
4) 収 穫 祭	78%	100%
5) 運 動 会	83%	92%
6) 教育発表会	86%	92%
7) 総合表現活動発表会 けんけん大会	76% 72%	58% 67%
8) 親子遠足	71%	58%
9) 個人懇談日	71%	58%
10) 参 観 日	81%	91%
11) 感染症マニュアル	80%	91%
12) 緊急事態マニュアル	82%	91%
13) ホームページについて	76%	100%
14) メール連絡網について	87%	92%

注 上記の表でグレーの編みかけになっている、「おひさまひろば」の活動（作物の実り）、「体育遊び」、「総合表現活動発表会」、「親子遠足」に関しては、保護者の方の評価結果より教職員はかなり低い自己評価をしましたが、そこには教職員のさらなる努力への決意がうかがえると言えます。

6. 札幌円山幼稚園の教職員は、上記の教職員による『自己評価』と『保護者アンケート』に基づいて以下のような総括をおこない、教育の成果と課題を明らかにしている。

平成 28 年度の保護者アンケート結果と教職員自己評価の比較と総括

【(たいへん良い・良い・普通・改善を望む)で求めた量的(%)な評価結果】

A. 肯定的評価

① アンケート結果を拝見すると、以下のような考え方に基づく平成 27 年度の教育が皆さまから概ねお認めいただけたものと受けとめました。

私どもは、お子さまが入園するときに、保護者の皆さまに、①園庭と園内での自由遊び、②体育遊び、③創造表現活動、④自然体験学習園での遊びを 4 本柱として掲げ、他園との差別化を図って教育することを重要な契約条件としてお認めいただきましたし、機会あるごとにそのことを訴えてきました。

この本園独自のカリキュラムは全国的にみても稀有なものであり、バランスのよくとれた本質的な教育プログラムであると自負しています。そして、私どもはこれらを総合的に実施することこそが幼児の発達を理想的に実現する本道であると認識しています。また、皆さまにお子さまの感受性、思考力、諸能力等の成長が具体的にはっきり見えるような教育に努めることも大切にしたいと考えています。

② また、感染症マニュアル、緊急事態マニュアル、ホームページ、メール連絡網を整備し保護者のとの連携を図ったことが高く評価され、私どもの努力が報われてたいへん幸せです。

B. 改善すべき評価

① とりわけて低い評価はみられなかったのですが、今後は、すべての項目で「A. 大変良い」という評価がより多くなるように、一丸となって、お子さまに愛情あふれる質の高い教育をしていく必要があると教職員一同は誓い合っています。

② 年長の親子遠足についてですが、量的には、たいへん良い 39%、良い 32%、普通 16%、改善を望む 7% でしたのでそれほど悪い評価はいただきませんでした。しかし、具体的な時期や場所や方法につきましては年少組・年中組も含めて全園体的に再検討して、後日、新たな案を呈示するつもりです。

C. 保護者と教職員の評価の比較

保護者と教職員の評価は概ね共通した結果となりました。しかし、自然体験学習園「おひさまひろば」の活動と「体育遊び」、「総合表現活動発表会」、「親子遠足」で、保護者をご覧になった上で評価した結果より教職員はかなり低い評価をしましたが、そこには教職員のさらなる努力への決意がうかがえます。

保護者が参加する保育や行事などに対して保護者は、かなり肯定的に評価している。特に、お誕生会、おひさまひろばの活動、運動会、教育発表会、教育参観日で高い評価がされていて、教職員の労苦が報われている。

今後も、園長をはじめ全教職員が、園児が喜びを感じる遊びを呈示するための教材研究を日々怠たらず、それらを積みあげ、自然な形で参観や諸行事で保護者に観てもらおうように一丸となって努力したいとの姿勢を多としたい。

7. 英語遊びへの期待

最後に、平成 28 年度から札幌円山幼稚園の 4 本柱の遊びに「英語遊び」が加わると聞いている。今後、国際化社会で活躍する園児たちにバイリンガル教育を課すのはまことに時宜にかなったものであり、これで幼児期の教育カリキュラムとしてはほぼ完べきに近いものになるので、今後の教職員の皆さまのご努力を大いに期待したいと思う。